

## 平成 24 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	III-1

技術部門	情報工学 部門
選択科目	情報システム・データ工学
専門とする事項	

※

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。(英数字及び図表を除く。)

( 1 )	B	Y	O	D	化	の	メ	リ	ッ	ト	と	デ	メ	リ	ッ	ト							
a )	B	Y	O	D	化	の	メ	リ	ッ	ト													
①	コ	ス	ト	が	か	か	ら	な	い														
	B	Y	O	D	の	場	合	、	個	人	端	末	を	利	用	す	る	た	め	、	会	社	は
端	末	を	購	入	す	る	必	要	は	な	く	、	会	社	が	コ	ス	ト	を	掛	け	な	く
て	済	む	。																				
②	使	い	慣	れ	た	端	末	の	利	用													
	B	Y	O	D	で	利	用	す	る	端	末	は	、	自	分	の	端	末	を	利	用	す	る
た	め	、	操	作	性	が	高	く	、	効	率	よ	く	業	務	に	利	用	で	き	る	。	
③	時	間	外	で	の	利	用																
	会	社	で	貸	与	さ	れ	る	端	末	は	、	利	用	で	き	る	時	間	が	勤	務	中
な	ど	に	限	定	さ	れ	る	場	合	が	多	い	、	一	方	B	Y	O	D	は	、	時	間
を	気	に	せ	ず	利	用	す	る	こ	と	が	で	き	る	。								
b )	B	Y	O	D	化	の	デ	メ	リ	ッ	ト												
①	端	末	が	管	理	さ	れ	て	い	な	い												
	会	社	か	ら	貸	与	さ	れ	る	端	末	の	場	合	、	シ	ス	テ	ム	管	理	者	が
管	理	す	る	ケ	ー	ス	が	多	い	、	一	方	B	Y	O	D	の	場	合	は	、	個	人
管	理	に	な	る	た	め	、	セ	キ	ュ	リ	テ	ィ	対	策	が	行	わ	れ	て	い	な	い
ケ	ー	ス	が	多	い	。																	
②	情	報	漏	え	い	の	リ	ス	ク														
	B	Y	O	D	は	屋	外	で	利	用	さ	れ	る	こ	と	が	想	定	さ	れ	る	。	屋
外	で	は	、	紛	失	や	盜	難	に	よ	る	情	報	漏	え	い	の	リ	ス	ク	が	考	え
ら	れ	る	。	ま	た	、	屋	外	の	W	i	-	F	i	環	境	な	ど	で	は	、	暗	号
化	さ	れ	て	い	な	い	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	環	境	も	想	定	さ	れ	る	。	こ	の
よ	う	な	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	環	境	で	は	、	盜	聴	に	よ	る	情	報	漏	え	い

●裏面は使用しないで下さい。

●裏面に記載された解答は無効とします。

24 字×25 字



平成 24 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	I-2-2

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。(英数字及び図表を除く。)

③	個人と会社の切り分けの提案
	個人と会社の切り分けは、上述したVDIの導入で
	対応する。VDIは端末に会社のデータは残らないた
	め、切り分けは可能になる。
	(3) 技術的提案がもたらす効果と潜在リスク
①	M D M 導入による効果
	M D M では、BYODで利用する個人端末も会社で
	管理できるようになるため、セキュリティ対策が強化
	される。また利用する端末を限定することが出来、不
	正な端末から、社内システムへのアクセスを制限する
	ことが出来る。
	潜在リスク：M D M ではネットワーク上で管理をおこ
	なうため、オフラインでは管理できないリスクがある。
②	VDI 導入による効果
	VDI では、業務データがサーバ上に保存され、ネ
	ットワーク上にも転送されないため、情報漏えい対策
	の効果が大きい。また、スマートフォンなど、スペッ
	クが低い端末でも、サーバ上でアプリを動作させるた
	め、性能が要求される業務でも利用ができる。
	潜在リスク：VDI はセキュリティ面での効果は大き
	いが、別途サーバを用意しなければならず、非常にコ
	ストがかかる。そのため、VDI の導入は、利用人数
	や利用方法などを分析して慎重に進める必要がある。

●裏面は使用しないで下さい。

●裏面に記載された解答は無効とします。

24字×25字